

# 林業を「産業」として復活

6月17日に委員会が開催され、森林・林業再生協議会の取り組み状況や平成29年度全国高等学校総合体育大会女子ソフトボール競技の開催についてなどの説明を受けた。

## ― 森林・林業再生協議会の取り組み ―

### 森林の状況

- ・面積 10,268 ha
- ・森林所有者の森林へ（林野率65%）うち民有林9,287 ha（民有林率90%）
- ・民有林のうち人工林5,303 ha（人工林率57%）
- ・所有状況 保有面積5 ha未満の林家（持ち主）74%

### 課題

- ・木材価格の低迷や森林所有者の高齢化等で森林整備が進まない。
- ・世代交代等で森林の境界が不明瞭。

- ・森林所有者の森林への関心が薄い。
- ・路網等の基盤整備の遅れ。
- ・地元製材所等の大口需要先がない。等々

### 短期目標

- 1、森林整備の見える化
- 2、木の良さを感じる
- 3、加工施設の強化・整備の検討

◎これらにより町民意識の醸成をはかる

将来は、町産材が無駄なく活用され、林業が産業として復活することを目標とする。

### 質疑

**委員** 境界明確化を早急に進める必要があると思うが。

**当局** 当町の山林は大半が民有地で小規模であり、個人の財産であるため地域の協力が必要な事業である。

**委員** 公共施設の町産材利用はどこまで進んでいるのか。

**当局** 木材使用については計画に基づき進めていく。森林・林業再生協議会では町の資源を町内で使える仕組みにしたい。予算の範囲内でできることを検討している。

## ― 全カプレーができる環境づくりへ ―

平成29年7月29日から8月2日まで、女子ソフトボール競技が長井市と共同開催される。会場となるソフトボール場、野球場を改修して準備にあたる予定で、改修内容及び事業費調査を行う。

### 質疑

**委員** 就業センターの改修をどう考えているのか。着替えやシャワー室など快適にプレーができるよう検討を。

**当局** 就業センターは建築から相当年数が経過している。

新たな視点で、スポーツの拠点として検討している。基金の活用を含め、公園一帯の計画をしていきたい。高

校総体には間に合わないが、施設を活用してもらえような改修が必要と考えている。

### 委員

ソフトボール場の土の入れ替え、スコアボード、外野フェンスなどの改修の検討は、

**当局** 調査の中でどこまで対応できるか検討する。県からは既存の施設を有効に使う大会との説明を受けたが、「白鷹でいい試合ができた」と言われるよう最低限の整備は必要と考えている。

### その他

- 地域住民生活用緊急支援のための交付金事業の状況
- 一般財団法人白鷹町アルカディア財団の経営状況
- ふるさと森林公園の状況について説明があった。



全カプレーを誓う